

校長室だより

No. 5

平成 28 年 5 月 6 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

今年も募集します 「ちゅらぼ」 —地域の教育力を生かす取り組み—



昨年度から創設させていただいた地域教育ボランティア「ちゅらぼ」。これは、文科省が推進してきた「地域ボランティア活動推進事業（地域教育力再生プラン）」、「地域とともにある学校づくりの推進（コミュニティ・スクール等）事業」の方向に沿ったものとして、取り組んできた活動です。少し難しい話になって恐縮ですが、ちょうど平成 28 年 1 月 25 日付で、

文科省から「新たな「次世代の学校・地域」創生プラン～学校と地域の一体改革による地域創生～」が策定されました。

(参考：文科省HP http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/01/1366426.htm)

右の資料にあるように、今後ますます地域と学校が一体となって地域の子供を育て、地域で活躍する人材を育てる取り組みが推進されます。と言っても本校の地域はこれまでも郷土愛が深く、学校への協力・連携を積極的にして下さる

地域です。「今さら何を言っているか」と思う方もいらっしゃるかもしれませんがね。わたしは、昨年一年過ごさせていただいて同じように強く感じます。

ただ、時代の流れで、今の保護者世代は地域を離れた場へお勤めされる方々の割合が増え、昼間は保護者が家にいない家庭が増えるなど、状況は変わってきているところも多少あります。当然、一世代前とは生活スタイルや価値観も

文科省HP「次世代の学校・地域」創生プラン **資料1**より

3-2 次世代の地域創生

(1) 地域と学校の連携・協働の推進に向けた改革

地域と学校の連携・協働の下、幅広い地域住民等(多様な専門人材、高齢者、若者、PTA・青少年団体、企業・NPO等)が参画し、地域全体で学び合い未来を担う子供たちの成長を支え合う地域をつくる活動(地域学校協働活動)を全国的に推進し、高齢者、若者等も社会的に包摂され、活躍できる場をつくるとともに、安心して子育てできる環境を整備することにより、次世代の地域創生の基盤をつくる。

変わってきているのではないのでしょうか。

こうした時代背景も鑑み、本年度も地域教育ボランティア活動「ちゅらぼ」を推進します。「学校の敷居が高くて・・・」と置いていらっしゃる方もいると聞きます。これを利用し、学校の敷居を低くし、学校の今を見ていただければと思っています。もちろん、学校の手が足りないところのお助けをお願いしていきます。また、本校では自由参観の期間を設けていませんので、授業の補助

ボランティアなど御都合がつけばお越しいただけると、普段の子供たちの様子も見ていただければと思っています。

左が去年の取り組みです。今年ももちろん、御都合のつく方だけでお願いしていきます。

先ほどの「次世代の学校・地域」創生プランでは、地域と学校との連絡調整を担う「地域コーディネーター」役を配置すると書かれています。しばらくは、わたしがその役割を担いたいと思っています。そして、「ちゅらぼだより」(本日も別紙として実家庭に配付)を、今後発信していきます。よろしかったら、御参加ください。

【去年のボランティア例】

■これまでも組織的に行ってきたボランティア

○明生クラブ

草取り・苗の植え替えボランティア

1年生活科昔の遊び紹介ボランティア

○るるの会

本の読み聞かせボランティア

○各町内

登下校見守りボランティア 等

■昨年募集したボランティア

○校外学習引率補助ボランティア

○プール監視補助ボランティア

○図書室環境整備ボランティア

○家庭科(裁縫・調理)補助ボランティア

○カーテン製作ボランティア 等

御案内が遅くなりごめんなさい

MICSに中部小が登場！ —「ぼくらの学校」—

■番組名：「ぼくらの学校」チャンネルCATV131ch

□放送日：5月2日(月) 18:45～、22:45～

3日(火)～8日

8:45～、12:45～、16:45～

18:45～、22:45～

9日(月) 8:45～、12:45～

■番組名：「タウン通信」(身近な出来事の項目で1分～1分30秒程度)同ch

□放送日：5月4日(水) 22:00～

5日(木) 8:00～、12:00～、16:00～

MICSで六ツ美中部小学校が紹介されます。子供たちが、小学校の自慢やみんなに知ってほしい特徴を発表します。学校では、お昼の放送でも見たいと思います。